

Grand Cube

Business Report 2024



グランキューブビジネスレポート
2024.4.1－2025.3.31

株式会社 **大阪国際会議場**

社長メッセージ

Top Message

皆さまには、平素より弊社事業に格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長の藤田正樹でございます。

2024年度は、開業以来はじめての休館を伴う大規模修繕工事によりリフレッシュした施設に、お客様をお迎えしました。併せて、国際会議等の誘致に引き続き注力するとともに、ホームページの更新・WEBマーケティングの展開や企業営業の体制強化等を行い、営業成績の向上に努めました。

おかげさまで、「北太平洋漁業委員会(NPFC)第8回年次会合」、「IPCC気候変動と都市に関する特別報告書 第1回主執筆者会合」や「Global Child Nutrition Forum(世界こども栄養フォーラム)」など世界的な課題に取り組む国際会議を開催いただき、また、営業成績も、当初営業損益ベースで1億2千万円程度の損失を想定していたところ、黒字を達成することができました。

この結果を踏まえ、今期は、昨年度より増配して配当を実施いたします。

いよいよ、「2025年大阪・関西万博」がはじまりました。世界中から多くのお客様が大阪を訪れ、大阪の魅力を体感されています。

この万博を契機に、当会議場が「アジアで有数の都市型MICE施設」となり、大阪が「アジア・大洋州地域でトップクラスのMICE都市」となることを実現するため、社員一同、全力を尽くしてまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



2025年6月

株式会社 大阪国際会議場

代表取締役社長

藤田 正樹

経営理念

私たちは、大阪府立国際会議場を世界の人・モノ・情報が
行き交う総合交流施設として運営し、大阪の発展と国際化
に貢献してまいります。

経営ビジョン

アジアで有数の都市型MICE施設を目指します。

OICC WAY (行動指針)

1. 私たちは、お客様の安全・安心を追求し続けます。
2. 私たちは、お客様の立場で行動し、信頼を勝ち取ります。
3. 私たちは、世界からお客様をお迎えします。
4. 私たちは、お客様に最適なサービスを提供するため、
建物・設備機器を大切にします。
5. 私たちは、自己の育成を図り、チャレンジします。
6. 私たちは、チームワークを大切にします。
7. 私たちは、社会のルールを守り市民の一員としての責務を
果たします。
8. 私たちは、地球環境の保全に取り組みます。

コーポレート スローガン



(注) MICEとは、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称でMは企業等の会議(Meeting)、Iは企業等の
行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、Cは国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、Eは展示会・見本市、
イベント(Exhibition/Event)の略です。

いらっしゃいませ。 私たちは、グランキューブ大阪です。

Contents

社長メッセージ	1
決算レポート	3
営業の概況	5
財務諸表	6
主な催事の開催状況	7
設備投資の概要・対処すべき課題	9
企業データ	10

(表紙 2024世界こども栄養フォーラム 大阪国際会議場1階プラザ)

決算レポート

Financial Report

事業の経過及び成果

【概況】

2024年度は、ここ数年不振であった売上を回復し、さらに伸長を図るため、学術会議とともに企業のイベントや会議の誘致開催に向けて、ホームページの刷新等により当社の施設・サービスの認知度を向上させ、問合せ等接触のあったお客様にきめ細やかに対応いたしました。また、備品・催事サポートを積極的に提案する等、新たな営業活動に取り組みました。併せて、コンサート等の興行について個別に働きかけるなど多様な催事の誘致に努めました。

この結果、事業売上高は過去最高（自衛隊大規模接種センターが設置された2021年度を除く。）に達しました。さらに、コストダウンにも努めた結果、営業損益ベースで黒字とすることができました。来館者についてもコロナ禍前の約9割まで回復いたしました。

国際会議など国際的なイベントの誘致に向けては、海外キーパーソンとのネットワーク形成に取り組むとともに、サステナビリティ方針の策定や全社員を対象とした英語研修など、国際会議場にふさわしい体制の強化に努めました。

「2025年大阪・関西万博」の年を迎え、当社は、「すべてのお客様にご満足いただける空間を提供したい」という思いで、全社一丸となって「アジアで有数の都市型MICE施設」にチャレンジしてまいります。

【営業成績の要旨】

施設事業収入は計画の6%を超える1,267,252千円に至り、サービス事業収入は679,123千円と計画の16%を超えました。その結果、事業売上の合計としては1,946,376千円（前期比160.8%、計画比109.8%）と計画の約110%に達しました。これに受取地代等の310,449千円を含めた売上高合計は、2,256,826千円（前期比148.5%、737,191千円増。計画比108.4%、175,722千円増）になり、当初の見込みを大幅に上回るようになりました。

営業費用は、物価上昇の中、抑制に努め、その合計は2,233,286千円（前期比99.1%、19,834千円減。計画比101.2%、25,558千円増）となりました。

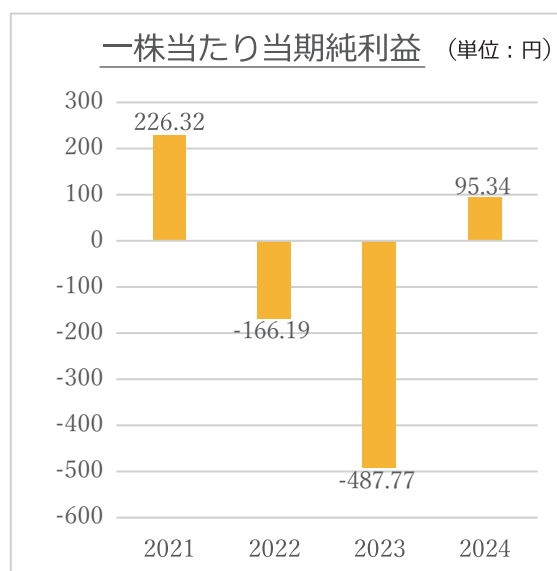
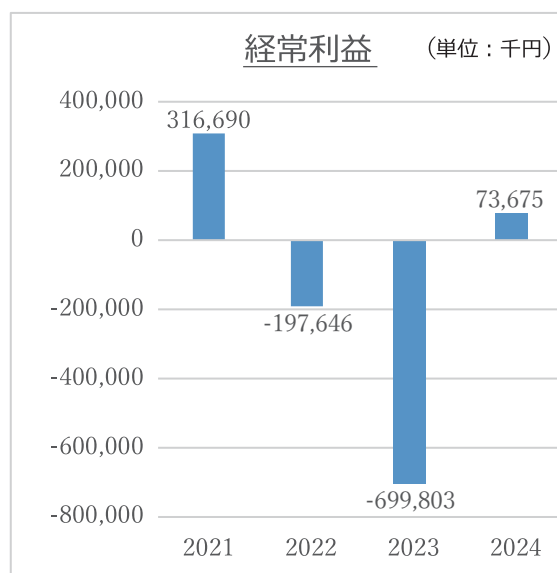
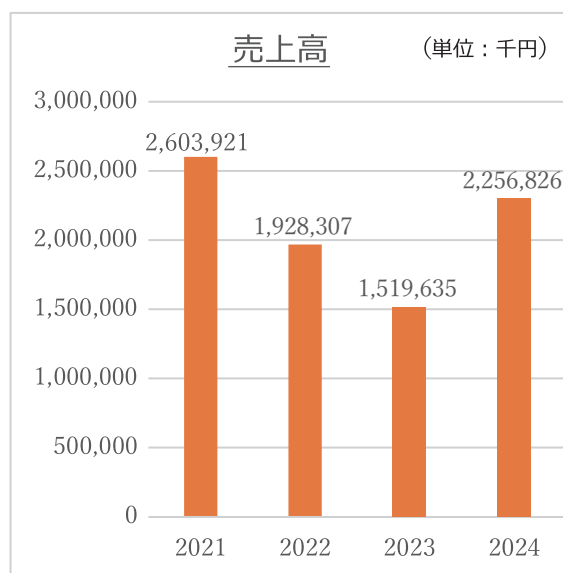
この結果、営業利益は、23,539千円（前期は733,485千円の損失。当初計画は126,623千円の損失）となり、これに受取利息34,814千円等の営業外損益を加えた経常利益は73,675千円となりました。

特別利益、特別損失ともになく、法人税等を控除した当期純利益は113,615千円（前期は581,276千円の損失。当初計画99,843千円の損失から213,458千円の改善）となりました。

上記金額に消費税等は含まれておりません。

損益の推移

区 分 \ 年 度	2021年度 (第73期)	2022年度 (第74期)	2023年度 (第75期)	2024年度 (第76期)
売 上 高 (千円)	2,603,921	1,928,307	1,519,635	2,256,826
経 常 利 益 (千円)	316,690	▲ 197,646	▲ 699,803	73,675
当 期 純 利 益 (千円)	269,724	▲ 198,068	▲ 581,276	113,615
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	226.32	▲ 166.19	▲ 487.77	95.34
総 資 産 (千円)	6,382,226	5,672,234	5,317,927	5,395,695
純 資 産 (千円)	4,647,243	4,337,338	3,757,032	3,802,692
1 株 当 た り 純 資 産 (円)	3,899.41	3,639.37	3,152.71	3,191.03



(注)2021年度は、自衛隊ワクチン大規模接種センターの設置により売上増
2023年度は、大規模修繕工事に伴う全館休館(12-3月)により売上減

営業の概況

Review of Operations

【営業成績の内訳】

(単位：千円：％)

項目\期別	2023年度 (前期)	2024年度 (当期)	前年比
施設事業収入 (施設利用料) (キャンセル料) (テナント料)	724,341 (679,936) (17,882) (26,522)	1,267,252 (1,187,043) (43,633) (36,576)	175.0
サービス事業収入 (備品利用料) (催事関連収入) (フードサービス) (売上管理手数料) (駐車場利用料) (その他附帯)	485,978 (180,355) (122,049) (124,854) (25,151) (28,407) (5,158)	679,123 (302,640) (204,250) 0 (114,657) (47,255) (10,319)	139.7
受取地代収入	300,708	300,708	100.0
その他の営業収入	8,607	9,741	113.1
合 計	1,519,635	2,256,826	148.5

【催事利用状況】

(単位：件)

区 分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
会議	275	767	568	864
国際会議	0	24	47	53
展示会	8	32	23	33
興行	22	64	48	90
合計	305	863	639	987

【施設の稼働率】

(単位：％)

区 分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
メインホール ①	77.5	72.5	62.3	76.1
イベントホール②	85.3	70.1	74.6	83.9
10階会議室 ③	80.1	60.7	68.4	70.9
上記平均 (①～③)	81.0	67.8	68.4	77.0
特別会議場 ④	76.9	48.4	60.5	62.1
その他の会議室⑤	71.3	41.6	43.2	48.8
全館平均 (①～⑤)	75.4	50.8	54.6	59.4

【来館者数の推移】

(単位：千人)

区 分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
来館者数	1,052	682	498	882
海外からの来館者数	0	4	8	19

財務諸表

Financial Statements

【貸借対照表】（2025 年 3 月 31 日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,266,578	流 動 負 債	1,543,942
現金及び預金	1,929,776	買掛金	89,533
売掛金	130,581	未払費用	83,354
有価証券	200,030	未払金	815,849
貯蔵品	1,044	未払法人税等	7,826
前払費用	2,106	未払事業所税	23,931
未収収益	7,917	未払消費税等	79,737
その他	17	契約負債	422,396
貸倒引当金	△ 4,895	預り金	2,405
		賞与引当金	15,845
		その他	3,061
固 定 資 産	3,129,116	固 定 負 債	49,060
有形固定資産	126,148	退職給付引当金	49,060
建物附属設備	448		
工具・器具備品	3,916		
土地	121,783		
無形固定資産	22,023	負債合計	1,593,003
ソフトウェア	21,657	純 資 産 の 部	
電話加入権	366	株 主 資 本	3,974,993
投資その他の資産	2,980,944	資本金	600,000
投資有価証券	2,911,980	利益剰余金	3,379,103
差入保証金	1,000	利益準備金	148,437
保険積立金	19,296	その他利益剰余金	3,230,666
繰延税金資産	48,668	別途積立金	2,900,000
		繰越利益剰余金	330,666
		自己株式	△ 4,110
		評価・換算差額等	△172,301
		その他有価証券	
		評価差額金	△172,301
		純資産合計	3,802,692
資産合計	5,395,695	負債及び純資産合計	5,395,695

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

【損益計算書】（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額
売 上 高	2,256,826
売 上 原 価	1,909,454
売 上 総 利 益	347,371
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	323,831
営 業 利 益	23,539
営 業 外 収 益	50,220
受 取 利 息	34,814
そ の 他	15,406
営 業 外 費 用	85
そ の 他	85
経 常 利 益	73,675
特 別 利 益	-
特 別 損 失	-
税 引 前 当 期 純 利 益	73,675
法 人 税 等	△39,940
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	8,901
法 人 税 等 調 整 額	△48,841
当 期 純 利 益	113,615

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

主な催事の開催状況

Main Events in 2024

今期は、政府系の国際会議として「北太平洋漁業委員会(NPFC)第8回年次会合」や「IPCC気候変動と都市に関する特別報告書 第1回主執筆者会合」が開催されました。また、万博に関連した催事として「2025大阪・関西万博に向けた未来社会デザインシンポジウム2024」、「開幕250日前 EXPOミライ学園祭」が開催されました。

これらを含め、今期、当会議場で開催された催事は、国際会議53件、国内会議488件、イベント323件、展示会33件、興行90件の計987件となりました。

(注)国際会議の件数はJNTO(日本政府観光局)基準にて掲記しております。JNTO基準とは、①主催者が国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)、②参加者総数が50名以上、③参加国が日本を含む3居住国・地域以上を満たす会議です。

【主な国際会議】

国際会議の名称	開催月	参加人数	内海外	備考
北太平洋漁業委員会(NPFC) 第8回年次会合	4	1,670	1,110	※
国際地震地盤工学会議	5	2,600	1,440	
第78回国立病院総合医学会	10	12,050	4	
第45回動物臨床医学会年次大会	10	6,030	120	
世界がん撲滅サミット2024 in OSAKA	11	800	3	
第15回 東アジア倒産再建シンポジウム	11	520	300	
IEEE環太平洋高信頼性コンピュータシンポジウム	11	450	300	
アジアマーケティング協会国際会議	11	200	100	
第63回日本網膜硝子体学会総会	12	5,450	9	
2024世界こども栄養フォーラム	12	2,058	1,855	
STROKE2025(日本脳卒中学会他合同学会)	3	11,470	32	
IPCC気候変動と都市に関する特別報告書 第1回主執筆者会合	3	770	600	

※はハイブリッド会議

【主な国内会議・イベント】

国内会議・イベントの名称	開催月	参加人数	内海外	備考
パナソニックインダストリー株式会社新入社員研修	4	4,050	0	
ダイキン工業株式会社新入社員導入教育	4	1,680	0	
OSAKA TOYOTA HELLO FES 2024	4	1,500	0	
大阪私立中学校フェア2024	4	5,100	0	
2025大阪・関西万博に向けた未来社会デザインシンポジウム2024	4	370	0	
すずらん会総会・懇親会	5	1,200	0	
開幕250日前EXPOミライ学園祭	8	1,030	0	
ダスキン創業60周年記念大会	11	3,850	20	
第4回 全国高校 軽音楽部大会 we are SNEAKER AGES 全国大会	12	3,000	0	
令和7年 大阪新年互礼会	1	2,000	0	



すずらん会総会・懇親会



第4回全国高校 軽音楽部大会



令和7年 大阪新年互礼会

【主な展示・興行】

展示・興行の名称	開催月	参加人数	内海外	備考
「伝統と創意」第78回日本書芸院展	4	6,100	0	
M-1グランプリ2023 スペシャルツアー大阪公演	4	7,800	0	
ジュラシック・ワールド in コンサート・ジュラシック・パーク in コンサート	5	5,300	0	
松山千春コンサート・ツアー2024	6	2,700	0	
art stage OSAKA 2024 OSAKA ART Showcase Leading To 2025	9	3,870	250	
計測展2024 OSAKA	10	15,300	0	
NIJISANJI COUNTDOWN LIVE 2024→2025	12	2,800	0	
ライオン春のプレゼンテーション	1	1,700	0	
令和7年度 西日本 金鳥製品商談会	1	900	0	
韓日国交正常化60周年 THEトロットSHOW in JAPAN	3	4,010	2,005	

設備投資の概要

Overview of Capital Investment

目 的	項 目	金額（単位：千円）
安全・安心	什器・備品保全	10,133
	量水器メーター取替工事	4,400
	入室管理システムセンター装置更新工事	3,600
	空気調和機内熱交換機殺菌灯取付	3,016
	1階プラザ炎感知器取替工事	2,620
	着信応答装置の取付	1,106
	電気子メーター取替工事	550
	備蓄物資保管棚の購入	372
	ビジネスセンター及びラウンジに監視カメラ設置工事	320
快適な会議環境	舞台幕取替工事	5,700
	バリアフリースイレ自動扉設置工事	3,250
	照明制御センター装置整備工事	1,730
	コンセント回路増設（喫煙コーナー・自販機用）	331
	コイン両替機の改修	200
	1008会議室コンセント回路増設工事	78
	抜け止めコンセントの購入	3
その他	パソコン端末機の更改	40,710
	駐車場新紙幣対応作業	1,818
	5F ラウンジカウンターコンセント設置工事	260
	ラウンジ用リサイクルボックス（ゴミ箱）の購入	37
	修繕その他	23,607
以上を含めた設備投資の総額		103,847



電気子メーター取替工事



1階プラザ炎感知器取替工事



ビジネスセンター監視カメラ設置



量水器メーター取替工事



バリアフリースイレ自動扉設置



5Fラウンジカウンターコンセント設置

対処すべき課題

Challenges Ahead

2025年度は、MICE都市大阪に向かう絶好のチャンスとなる2025年大阪・関西万博の開催年にあたります。当社は、この万博開催を契機として、経営ビジョンである「アジア有数の都市型MICE施設」の実現を目指し、中長期視点で具体化を進めてまいります。

また、この「2025年大阪・関西万博」のレガシーとして、海外MICE関係者とのネットワークを強化するとともに、中之島に立地するグランキューブ大阪としてのブランドイメージを醸成してまいります。

更に今年度は、2000年4月の当会議場開業から25周年を迎えます。これを機に、広報・PR活動を強化し、各ステークホルダーとの関係を深めてまいります。

当社は、「すべてのお客様にご満足いただける空間を提供したい」という思いで、運営をしてまいります。

【2025年度収支計画】

区 分	金 額（単位：百万円）
売 上 高	2,557
営 業 費 用	2,321
営 業 利 益	236

企業データ

Company Data

会社概要（2025年3月31日現在）

商 号	株式会社 大阪国際会議場 (英文社名 Osaka International Convention Center Corp.)
所 在 地	〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号 TEL：(06)4803-5555(代) / FAX：(06)4803-5620
資 本 金	6億円（授權資本金 10億円）
設 立	昭和33年8月9日（Aug9,1958）
主要な事業内容	1.国際会議及び国内会議並びに文化、学術、芸術等各種催物の企画、誘致及び開催 2.内外商品等の見本市及び展示会の企画、誘致及び開催 3.大阪府立国際会議場の会議施設及び展示場並びにこれらに附帯する施設、設備機器、備品等の賃貸及び管理運営並びに駐車場、飲食店の管理運営 4.旅行業法に基づく旅行業

会社の沿革

1958年8月	当社の前身となる株式会社大阪国際貿易センター設立。 国際貿易センターを建設・管理運営するため、大阪府及び関西経済界の共同出資により第三セクターが設立される。
1960年4月	大阪国際貿易センターが開設。 現在地に我が国初の総合商品常設展示場・催し物会場としてオープン。その後35か年にわたり、輸出向け商品の常設展示、紹介事業を通じて、大阪の産業貿易振興に貢献してきた。
1994年1月	現在地に、新たに第一級の国際会議が可能なコンベンション機能を備えた府立の国際会議場を建設することを、四者(府、市、関経連及び大商)が合意。
1994年6月	府からの申し入れを受け、当社が新たに建設される府立国際会議場の管理運営を受託することを決定。
1998年9月	商号を、株式会社大阪国際会議場に変更。
2000年4月	大阪府立国際会議場がオープン。当社が当国際会議場の管理運営を受託。 開業以来現在まで大阪府立国際会議場の管理運営を受託。
2006年4月	指定管理者制度が導入され、当社が大阪府立国際会議場の指定管理者に決定。
2014年4月	大阪府との間で管理運営業務契約を締結。当国際会議場の指定管理者として、5年間の管理運営業務を開始。
2019年4月	大阪府との間で管理運営業務契約を締結。当国際会議場の指定管理者として、10年間の管理運営業務を開始。
2020年4月	大阪府立国際会議場開業20周年を迎える。
2023年12月	開業以来初めて全館休館を伴う大規模修繕工事を実施（～2024年3月）
2025年4月	大阪府立国際会議場開業25周年を迎える。

役員の状況

(2025年7月1日現在)

代表取締役社長	藤田 正樹	
専務取締役	播本 裕典	
常務取締役	芳賀 貴臣	
取締役*	井上 礼之	ダイキン工業株式会社 名誉会長 グローバルグループ代表執行役員
取締役*	小川 理子	パナソニックホールディングス株式会社 執行役員
取締役*	加藤 好文	京阪ホールディングス株式会社 代表取締役会長CEO 京阪電気鉄道株式会社 代表取締役会長
取締役*	佐藤友美子	学校法人追手門学院 理事
取締役*	寺田千代乃	アート引越センター株式会社 名誉会長
取締役*	檜原 誠慈	東洋紡株式会社 取締役会長
取締役*	松阪 博文	大阪府 府民文化部長
取締役*	宮崎 寛	カナデビア株式会社 取締役 兼 常務執行役員 企画管理本部長
取締役*	山口 信彦	大阪府 副知事
常勤監査役※	泉 薫	弁護士
監査役※	沖原 隆宗	株式会社三菱UFJ銀行 特別顧問
監査役※	角元 敬治	株式会社三井住友銀行 上席顧問
監査役※	小坂 肇	株式会社奥村組 副社長執行役員

(注)*は会社法第2条第15号に定める社外取締役、※は同法第2条第16号に定める社外監査役です。

(50音順)

株式の状況 (2025年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 普通株式 2,000,000株
 (2) 発行済株式総数 普通株式 1,200,000株
 (うち自己株式8,320株)
 (3) 株 主 数 257名
 (自己名義株式保有の当社を含む)
 (4) 大 株 主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	持 株 比 率
大 阪 府	600千株	50.35%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	34	2.85
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	28	2.36
カ ナ デ ビ ア 株 式 会 社	28	2.35
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	24	2.01
関 西 電 力 株 式 会 社	23	1.95
株 式 会 社 本 郷 会 計	22	1.92
株 式 会 社 り そ な 銀 行	22	1.85
株 式 会 社 ク ボ タ	20	1.69
パナソニックホールディングス株式会社	20	1.68

(注)持株比率は発行済み株式の総数から自己株式数を除いて算出しております。



グランキューブ大阪

Osaka International Convention Center

(大阪府立国際会議場)

株式会社 **大阪国際会議場**

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号

Tel.06(4803)5555

Fax.06(4803)5620